



◀ そのほかの取材記事はこちらから ▶

松村美沙枝 赤こんリポーター



“病児・病後児保育” という名の居場所

病児・病後児保育を行っている「わかばルーム」さんは、今まで未就園児対象であった事業を、今年度から小学2年生に引き上げて運営をされています。「体調の悪い子どもを集団保育に入れるのは難しい、という保育園側の気持ちと、近くに預けれる大人がいない・休めない仕事がある・しょっちゅう休んでもいられない、という保護者側の気持ち、どちらも理解できる私たちが間に入って居場所になる」をモットーに、大人だけでなく預けられた子ども一人ひとりの気持ちにも寄り添い、病状により部屋が分かれていたり、回復期の子は楽しく遊べたりと、無理なく気持ちよく過ごせる温かい場所でした。

向坂奈穂美 赤こんリポーター



作品に込められた想いに触れる、ひととき。

9月23日、永原町のボードレス・アートミュージアム NO-MA（旧野間邸）を訪れ、企画展の第Ⅱ期を鑑賞しました。単色表現が中心の展示で、作品は極めて細やか。描かれた線や面から、作者が時間をかけて丁寧に作り上げたことが伝わってきました。一つの作品を確実に仕上げることに込められた思いや時間の重みに、深く考えさせられます。最後に立ち寄った2階の「ものづくりランド」は、落ち着いた空間にあり、こどもたちの愛らしい作品や本、小物などがたくさん並んでいました。心がふっと和み、温かい気持ちで会場を後にしました。



山田恵美 赤こんリポーター



西の湖畔でお月見を ホルンとピアノの夕べ

10月5日、西の湖自然楽校で「お月見コンサート～ホルンとピアノの夕べ～」が開催されました。安土町在住の加藤有香里さんによるホルンとヨシ笛、京都在住の伊賀高弘さんによるピアノで「月」の入る曲などが演奏され、伊賀さんの撮った月の映像を見ながら参加者らはゆっくりと演奏を楽しみました。

中秋の名月である10月6日の前日の月は、日中降った雨で見えるかを懸念されましたが、琵琶湖最大の内湖である西の湖に夕陽が沈むと、鮮やかで美しい月が昇り、お月見コンサートをやさしく照らしました。

西野康代 赤こんリポーター



浄厳院でイベント開催中！

今年も浄厳院（安土町慈恩寺）で国際芸術祭が開かれています。浄厳院は織田信長が創建したといわれる歴史ある寺院。現在、寺院の屋内外には、型にはまらない自由な発想で表現された絵画や立体作品があふれています。海外からレジデンスとして来日した芸術家たちが浄厳院で宿泊しながら創り上げた作品や、国内の多くの作家たちの作品です。今年で5年目になるこの取り組みは、地域の人にも受け入れられ、レジデンスとの交流も深まっています。一人でも多くの方が自由な芸術に触れるように、小中高大学生は無料で入場できます。重要文化財の中での芸術鑑賞をぜひ楽しんでください。11月23日（祝）まで。



市内のイベント情報はここから ▶

10月8日



「120歳おめでとう！」 運動会で楽しくお祝い

明治39年創立の八幡幼稚園で、120周年を記念した運動会が開かれ、3～5歳の子どもたちが元気いっぱいに園の節目をお祝いしました。

運動会は体操やかけっこ、大玉転がしなどのほか、全園児によるダンスや、「お祝いケーキを作ろう」といったケーキの飾りを運ぶ競技が行われ、子どもたちの活躍に保護者は拍手喝采。最後はみんなで風船を飛ばし、晴天の中飛んでいく風船に、参加した全員から感嘆の声が上がりました。

9月20日・27日



市文化芸術アドバイザーによる優雅な調べ ふるさと音楽祭

本市が誇る歴史的・文化的な場所で、すてきな演奏とともにまちの魅力を再発見できる「ふるさと音楽祭」の第2回と第3回が開催されました。

第2回の開催地は八幡堀。この日は八幡堀まつりも開催されており、ろうそくに照らされた幻想的な空間の中、クラシック音楽を楽しみました。第3回は日牟禮八幡宮の能舞台で行われ、偶然訪れていた観光客も足を止めて音楽に聴きいていました。

9月28日～10月8日

国スポ選手たちが輝く、近江八幡の舞台

44年振りに滋賀県で国スポが開催され、本市ではトリアスロン、バレーボール、ハンドボール、軟式野球が行われました。選手たちは日々の努力の成果を存分に発揮し、熱戦と感動をもたらしてくれました。

